

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶりずむ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 12日		～ 令和 8年 4月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 12日		～ 令和 8年 4月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 4月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども理解に基づく個性の高い支援	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマル+日々の観察を組み合わせたアセスメント ・支援計画の定期的に見直し ・個別活動と集団活動を意図的に使い分け ・自己選択・自己決定の場面をつくっている ・日々の活動の中で自分で選ぶ場面を意図的に設定 	ケース検討の質向上 ↳外部専門家（OT・心理など）を交えた事例検討
2	チームでの一貫した支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・支援前の打ち合わせで役割と対応を統一 ・昼礼・終礼・定例会議での情報共有 ・記録・SNS等を活用した情報の補完 ・匿名意見箱などで現場の声を拾う仕組み 	情報共有の精度を上げる ↳終礼に参加できない職員への代替共有の仕組み整備（動画・音声・チェック式共有など） OJT・育成の体系化 ↳段階別育成のチェックリスト
3	安心して通える関係性と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールや活動の見える化（構造化） ・刺激を調整できる空間づくり（静かな場所の確保） ・日々の保護者との情報共有・面談 ・安全管理（マニュアル・訓練）の徹底 	家族支援の強化 ↳ペアレントトレーニングの実施 ↳保護者向けミニ勉強会・座談会の実施等

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援・保護者同士のつながりの弱さ	家庭へのアプローチが点になっている	困る前に支える ↳ペアレントトレーニングの導入 ↳きょうだい支援の実施
2	地域との関わり・外部交流の少なさ	事業所の中で完結してしまっている傾向がある	地域の中で育つ ↳他事業所等との定期交流の設定 ↳外出・合同イベント・地域参加型活動 ↳図書館・公園・イベント等を平常的へ
3	情報共有のばらつき	共有の質が人や状況に依存している	確実に伝わっている状態 ↳共有フォーマットの統一 ↳参加できない職員がいる終礼に代わる仕組みづくり